平成１９年度　第６回南外地域協議会会議録

１．日　時

平成２０年２月２６日（火）　午後６時から７時５０分

２．場　所

南外コミュニティセンター「ホール」

３．会議の次第

（１）開　　会

（２）会長あいさつ

（３）議　　題

１）地域枠事業の承認について

①市民バス停留所乗降標設置事業について

②ふれあいパーク案内板設置事業について

２）市（支所）に対する要望・提案事項について

①第５回協議会要望事項の回答

３）市長への提言について

４．その他

（１）次回協議会日程について

５．出席者氏名

（１）出席委員（１１名）

伊藤　辰郎、伊藤　葉子、小松　成功、今野　幸蔵、佐藤のり子、佐藤　　豊、鈴木　幸一、佐々木久悦、佐々木雅子、佐藤　セツ、佐々木タヨ子、

（２）事務局（７名）

支所長	伊藤　堅光	地域振興課長	高橋　定悦
地域振興課参事	佐藤　裕康	地域振興課主幹	佐々木清哉
地域振興課主任	佐藤　茂暁	地域振興課主任	木村　愼吾
地域振興課主事	高寺　真史		

６．欠席者氏名

欠席委員（６名）

伊藤　慶蔵、伊藤　正照、伊藤　誠一、今野　純子、今野　盛孝、佐藤由香子、

７．会議録

（１）開　会

高橋地域振興課長　皆様、本日はお忙しいところお集まり下さいましてありがとうございます。御案内の時間となりましたので、ただ今から「第６回南外地域協議会」を開催します。
はじめに伊藤会長より御挨拶をお願いします。

伊藤辰郎会長　二月もわずかとなり、だいぶ日が長くなって、春も間近な感じを受けます。今年は思いの外雪が降ってかなり寒い日が多かったので、地球温暖化を感じることもなく、また今年の水不足の心配もないものとホッとした感じをしているところです。
今日は議題として３件程です。いつもは長くなりがちですので今日は早めに終わりたいものと思いますので御協力をお願いします。

高橋地域振興課長　ありがとうございました。
次に議題に入りたいと思います。
本日の委員出席数は９名であり、大仙市地域自治区の設置等に関する条例、第９条第２項の規定により本会議が成立することを御報告します。なお、本会議は会議録を作成する関係で録音してございます。御意見や御質問等御発言の際は何とぞマイクロホンを御使用下さいますようお願い申し上げます。それでは議長は会長が務めることとしておりますので、進行についてよろしくお願いします。

伊藤辰郎会長　議題に入る前に本日の議事録署名委員を指名します。
今野幸蔵委員と佐々木タヨ子委員にお願いします。
それでは議題に入ります。
はじめに（１）地域枠事業の承認についてです。
①「市民バス停留所乗降標設置事業」について事務局から説明願います。

佐藤地域振興課参事　【資料説明】

伊藤辰郎会長　それではただ今の説明で御意見や御質問がありましたら御発言願います。

伊藤辰郎会長　この標柱の長さや太さはどのようなものですか。

佐藤地域振興課参事　【資料説明】

伊藤辰郎会長　バス時間を入れなくていいんですか。

佐藤地域振興課参事　時間を入れれば良いでしょうが、それほど運行の本数もないし、だいたいの時間は事前に周知するので、一度利用してもらえばわかるので特に時間を入れなくてもいいと考えたところです。

伊藤辰郎会長　他にありませんか。特にないようですので、この事業については了承されたということで次に参ります。
次は②「ふれあいパーク案内板設置事業について」です。事務局から説明願います。

佐々木主幹　【資料説明】

伊藤辰郎会長　ただ今説明ありましたように、ふれあいパークの看板をリニューアルしようということについて御説明致しましたが、何か御質問や御意見はありませんか。
看板のデザイン等については資料の２枚目にありますので、参考願います。みなさんよろしいですか。特に御意見や御質問がないようですので、この件につきましては承認をいただいたと言うことで進めさせていただきます。
次は、市に対する提案事項について、前回の第５回協議会で要望のあった事項について回答があるようですので、事務局より御説明願います。

佐々木主幹　最初に、佐藤豊委員より要望がありました「大仙市総合発展計画における平成１８・１９年度の南外地域の事業の実施状況」について資料を配付しておりますので御覧願います。
【資料説明】

高橋地域振興課長　続いて、伊藤葉子委員から要望のあった「庁用バスの貸し出し」について御報告します。
前回と同じような説明になりますが、大仙市のバス使用規定に照らし合わせて対応しています。確か伊藤委員からは地域婦人会が県大会に出席する際のバスの貸出しでしたが、昨年の６月に教育委員会の分室長名で大仙市の婦人講座研修に使用したいとの使用願いが出されています。いずれ、社会福祉活動や社会教育活動など市の行事として進める事業にあっては、課長を始めとした管理職名での使用願いが出ていれば貸し出すことができますし、実際に昨年県大会のためにバスを使用していますので、昨年同様に窓口を教育委員会

として出してくだされば可能と考えています。以上です。

伊藤会長　伊藤葉子委員についてはよろしいですか。はい。
では、先に説明がありました件について御質問がありましたらお願い致します。佐藤委員いかがですか。

佐藤豊委員　５ヶ年の南外地域の事業費には病院、公営事業を除くと解釈していましたが、いかがですか。

佐々木主幹　公共下水事業を含んだ事業費です。

佐藤豊委員　１８年度と１９年度で２８．９％の事業費になっていましたが、意外に多かったと驚いています。
　坊田黒沢線の林道改良は何ら手つかずの状態になっていますが、その辺はどうなっていますか。

佐々木主幹　２２年度までは５千万が事業費として計上されていますが、２３年度以降を含めると３億７千万の事業費ですので、５ヶ年の事業費とは異なっています。
　なお、今回佐藤委員のご質問に応える形で、南外地域の事業の執行状況を取りまとめ、また検証し報告する機会をいただき大変勉強になりました。

佐藤豊委員　厳しい財政事情ですので、ぜひ必要な事業を優先的に事業を執行していただきますようお願い致します。
　特に、坊田黒沢の林道については、実際にはヤマメまでは舗装ができてますし、ダムまでも道路が通じています。あとは薬師側のヘアピンで降りていくところは大曲地域の部分ですし、金喰い事業なので実際には実施不可能な事業だと思います。そういう意味で事業を精査し、実際に必要な事業を一日でも一ヶ月でも早く実施してもらえればということで話をしたところです。

伊藤辰郎会長　私も全体の事業の状況がわかって来ました。財政難ということで事業が繰延べになっている状況がわかりました。この傾向は大仙市全体の状況でしょうか。

佐藤地域振興課参事　１８年１９年度の２ヶ年に限っては事業計画額に対する事業の執行額は８割近くなっているのでまあまあではないかと考えます。ただ、各事業の事業費の年度配分が後年度に偏っているいることから、平均的な進捗状況にはなっていません。いずれにしても、事業が先

送りされている状況は否めず、これは大仙市全体の傾向である考えます。

佐々木久悦委員　南外の二ヶ年の事業の実績状況は２割減となっていますが、これは大仙市も同じ状況ですか。また、歳入が少ないというのは新たに大仙市の他のところで新規事業が盛り込まれたことによるものでしょうか。

佐藤地域振興課参事　大仙市全体のデータがないので、はっきりわかりません。
ただ、地方交付税が落ち込んでいるのは確かあることから歳入が不足してしる状況は確かです。これに伴って一般財源が減少していることは間違いないと考えます。合併当初のシュミレーションで示された金額とはかなり違っているものと思われます。

佐々木主幹　また、南外地域の事業のほとんどが補助金や一般財源と「過疎債」という借金を組み合わせた事業となっています。これは過疎債の枠取りの難しさに加え、借金は公債費として返済していかなければならないことから、公債費を抑制しようとすれば起債事業にブレーキが働きます。こうした状況が起債事業の推進を遅らせている大きな要因となっていると考えられます。

伊藤辰郎会長　その他に何かありませんか。無いようですので次に移ります。
続きまして、市長への提言です。

佐藤地域振興課参事　今野幸蔵委員から市長への提言と言うことで提出されています。
「市長への提言」につきましては、南外地域自治区として、特に市長へ提言したい事案がある場合、協議会全体の意見として御検討いただき取りまとめるものです。今回は今野幸蔵委員より事前に書面の提出がありましたので御協議いただきたいと思います。
　内容につきましては今野委員から発表いただきたいと思います。

今野幸蔵委員　一点目です。合併当初、大仙市総合計画の基本計画に堆肥センターを作るという計画が盛り込まれていました。合併して３年になりますが、どこからも話が聞こえて来ません。当時合併協議会の中でも一畜産農家としてぜひ実現してほしいと要望した経緯があります。最近の食糧問題に加え、大仙市の基幹産業が農業と位置づけれられている点を考えると、化学肥料に頼らない、有機質を使った農産物の生産、販売が重要になってくるのではないかと考えます。大仙市の今後の農業についても市長に聞いてみたいと思ったところです。

二点目は、各地区の地域協議会があり、もう一年の任期がありますが、そんな中で、各地域協議会で出された意見がどのように行政に反映されているのかなという思いから市長に伺ってみたいと思ったところです。

三点目は、地域協議会は地域枠予算が出てきてから地域枠予算のことで振り回されている状況があります。本来は諮問機関であるはずなのに、このような５００万円だけの審議となっている運営の仕方についていいのかなという感じがありましたのでお伺いしたいと思い提案したところです。

伊藤辰郎会長　ただいま今野委員から要望が出された訳ですが、内容的にこれでよろしいか委員の皆様から御意見を伺います。

佐々木主幹　この件について、農林振興課長からお話しを伺っていますので、御説明します。基本計画書には現在２箇所、２２年度で３箇所、２７年度で５箇所を設置するという目標を定めています。この計画を本庁で協議した際には美郷町に堆肥センターの建設が見込まれているので、完成後において美郷町の堆肥センターの利用状況をもとに、大仙市の堆肥を持ち込める状況があるか否か受入状況等を見極め、新たな堆肥センターの必要性を検討するという認識にあるようで、計画が無くなった訳ではなく継続的な検討課題として扱われているとの説明がありましたのでお伝えします。

今野幸蔵委員　現在の堆肥センターを合併後において大仙市として継続して使っていくのであれば、畜産農家にその情報を伝えるべきで、今のところ既存施設の有効利用の話は聞いていません。あくまでも新規に３箇所作るものと考えていました。

伊藤総合支所長　市長への要望、提言ですのでここで結論を出す話ではありません。ただ、この話を南外地域全体の意見として提言するかどうかを判断していただきたいと思います。提言をして初めて回答が来ると言うことです。そこを理解願います。

伊藤辰郎会長　今野委員は堆肥センターを南外にぜひ作ってほしいということですか。

今野幸蔵委員　先ほどの説明では話が違うようなので、市としてはっきりした説明をしていただきたいと思います。また、必ず南外に作ってほしいという話ではありませんし、３箇所と言った場合、そんなに遠くないところに作られるという思いはあります。いずれにしても有機質

堆肥を使った農産物の生産に対する思いがあったものですから、今回の質問となったものですので御理解をお願いします。

伊藤辰郎会長　今野委員が考えている堆肥センターはどのようなものですか。

今野幸蔵委員　堆肥農家ですから、畜産農家で使い切れない堆肥を処理してもらい、堆肥ばかりでなく、家庭から出る残飯の処理を含めた堆肥センターを考えています。循環型農業や環境型農業はいわゆる昔ながらの農業に戻るもので、時代の先を見据えた安心安全な有機農業をめざそうというものです。

小松成功委員　質問事項を変更しないで、このまま要望して、改めて市長から回答をいただいた方がいいものと考えます。

佐藤地域振興課参事　三箇所の取り方ですが、２２年度の前期５ヶ年では１箇所、２７年度までの後期５ヶ年では２箇所、合わせて３箇所設置することになっていますので新たに３箇所設置するという表現は間違ってはいません。

伊藤辰郎会長　今野委員の趣旨には賛同できますし、食糧自給率の向上を含め、大仙市の農業の発展を考えると有機堆肥を使った農業振興の必要性は大切だと考えます。
　２番目についてはどうでしょうか。

佐藤　豊委員　今野さんの要望でしょうから、直接聞いた方がいいと思います。内容からしてここで協議してどうこういう話ではないと考えます。

伊藤辰郎会長　よろしいですか。それでは３つめの件に移ります。
　私は、市長が地域協議会を作ったということは、合併して地域の特色があり、地域の人たちは何を考え何を要望しているのか、地域協議会を通じて地域から出しもらいたいということで作ったと思います。また、我々は自治会などからいろんな意見が出てきてそれを審議する役割だと認識しています。ただ、まだ南外の地域はそこまでに行っていないと思います。
　ですから自治会がもっと活発に動いて本当にこの地域をどうしたらいいのかとそういう声を吸い上げたいと、それを審議するのがこの地域協議会であると理解しています。そこまではいっていないということですから、現在は地域枠予算について振り回されているという意見には賛成できません。もっと我々から声を上げるべきじゃないでしょうか。

佐藤　豊委員　昭和３０年の昭和の合併を経験し、今回の平成の合併となったわけですが、合併すれば良くなるといって合併しましたが、その結果どのようになっているかは現実の姿をみればわかります。５００万円の話ではないです。まだまだ地域に根ざしたいろんな課題や困ったことがたくさんあります。合併によって組織機構が変わったことによって地域住民はどう考えているか、自分たちのくらしを守るための声をつぶさに行政に反映させていく、そのために地域協議会が作られたと思います。

市町村長や多くの議員が辞めたのになお財源がないといいます。また、非常に厳しい財政状況にあり事業が繰り延べされている状況にあります。私たちはそんな中で何の事業を南外地域として要望していくかを考えていくのが我々の役割だと考えていました。

それだけに５００万円の使い道に振り回されているという言い方には確かに抵抗はありますが、この地域としてもっともっと考えていかなくてはならないことが多くあることを思うと、３番目の質問は要望として出してもいいのではないかと考えます。

佐々木雅子委員　今野さんの考える堆肥センターの件については、これから農業が一産業として自立していかなければならないと考えますので、地域としても有機農業への意気込みが感じられるのでぜひ要望していただきたいと思います。

佐藤のり子委員　議長が話した内容は２つめか３つめのどちらを控えた方がいいと考えているでしょうか。

伊藤辰郎会長　３つめの提言について、３年間を振り返り地域協議会をどのように考えていますかという質問は構わないと思いますが、地域協議会の機能として考えた時に我々の地域はまだいろんな地域内の細かな意見や要望が出てくる状況には至っていないのに、使ってもいいということで与えられた５００万円の地域枠予算の審議に振り回されていますというふうには思わない方がいいのではないかということです。

佐藤のり子委員　私も議長の意見に賛成です。振り回されているという表現は控えた方がいいかと思います。

伊藤辰郎会長　今野さんいかがですか。

今野幸蔵委員　適切でないということであれば当然差し控えなければならないと思います。言われてみればそのように思います。

小松成功委員　合併協議会の際に「審議会」と「協議会」が出され、大仙市では「協議会」を選択したわけです。合併後において足並みが揃わない点もありますが、我々も勉強していかなければならないこともありますし、地域の要望という点では議員の役割ということもありますので、両者が連携して進めていかなければならないと思います。

また、５００万円の使い方についても我々自体が処理能力がなくて悩んでいるかも知れません。使い道がわからないまま行政と同じ括りのやり方で看板や標識など行政の考え方に沿って検討している向きも多々あります。今野さんにはもう少し、やんわりと質問したらいかがかと思います。

伊藤辰郎会長　今野さん以外の方で要望や提言はございませんか。よろしいですか。

表現は変えるにしても今野さんから出された三点については地域協議会の要望すると言うことにしたいと思います。

市長への提言・要望については以上でよろしいでしょうか。

次に、次回の協議会の日程について事務局からどうぞ。

佐藤地域振興課参事　次回は３月２７日（木）午前１０時からコミュニティセンターでということで決定になっています。その際には市長が出席することになっています。その際には要望提言もありますが、地域枠予算の執行方針として南外地域の地域づくりの取り組みを合わせて会長さんから説明していただきたいと言うことで資料を差し上げております。これについては地域づくりの方向付けとして新たな自治組織の設置についても触れておりますし、地域枠予算を使いながらそうした組織を支援していこうとする内容になっていますので御了解をお願い致します。

先ほど会長さんから地域協議会の役割についてお話しがありましたが、地域協議会にはいろんな考え方があるかと思います。地域の課題を自治組織の方々からたくさん出していただきたいということで、事務局としてもいろんな方向づけを考えていますし、自治会長会議を通じてお願いしていくことにしています。地域協議会としてもこうした動きと歩調を合わせ、一歩一歩階段を上がりながら成熟した組織になっていただきたいなと考えていますし、我々もいろんな情報を提供していきたいと考えています。

なお、２７日には市長も参りますので、多くの委員の方々の出席をお願い致します。

伊藤辰郎会長　３月２７日は市長さん若しくは副市長さんがお見えになりますのでできるだけ多くの委員の方々の御出席を私からもお願い致しま

す。それでは長くなりましたが本日の協議会を終了致します。ご苦労様でした。

この会議録は、議事録調整職員　佐々木清哉君が調整したものであるが、内容に相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成２０年　３月１９日

南外地域協議会会議録署名委員

委　員　　今　野　幸　蔵

委　員　　佐々木　タヨ子